

項目	①各教科の表現活動の充実	②道徳・人権教育の充実	③心と体を育む場づくり
①各教科における表現活動の充実			
②道徳教育・人権教育の充実			
③心と体を育む場づくり			
④読む活動の充実			
⑤授業の充実			
⑥家庭学習の充実			
⑦基本的な生活習慣の充実			
⑧自他を大切にできる気持ちの醸成	④読む活動の充実	⑤授業の充実	⑥家庭学習の充実
⑨地域に根ざした学習の充実			
⑩情報の発信と連携			
⑪授業の改善			
A とても良い	⑦基本的な生活習慣の充実	⑧自他を大切にできる気持ち	⑨地域に根ざした学習の充実
B 良い			
C できていない			
D まったくできていない			
無回答			
	⑩情報の発信と連携	⑪授業の改善	

<分析> …それぞれの項目について、昨年との比較から

1. コロナ禍で、各教科の表現活動が制限されているが、工夫しながら取り組んでおり、表現活動を充実させることを大切にしている。児童の評価でも高い傾向が見られるので、継続して取り組みを続けていく。
 2. 昨年度よりも向上している。人権教育について日常の場から意識を高めて指導を行っていく必要がある。
 3. 心と体を育む場作りについては、行事・児童会活動の中止などにより十分な機会をつくれしていない。しかし、今後、行事を位置づけていくことや日常の活動を通して場を作り、心と身体を育てていきたい。
 4. 読む活動の充実には、図書館の利用が制限されている中で、決められた時間を有効に使い実施することができている。
 5. 授業時数が減っていることを意識しながらも一人一人に寄り添った、わかりやすく能率的な学習が進められている。
 6. やや向上している。「紡ぐ(つむぐ)」「手引き」を活用し、学年の段階にあった取り組みと保護者への啓発を行いたい。
 7. やや低下している。コロナ禍で重要な要素となるので継続した指導を心がけていきたい。
 8. 向上が見られた。道徳・人権教育と関連させながら、意識を高めていきたい。
 9. 校外へ出た学習の場が減ったことや地域の方を講師として招くことができないという厳しい状況にあるが、今後可能な範囲で機会をつくり地域学習を行いたい。
 10. HP、学校だより、学年(学級)通信で情報発信が定期的にできている。今後も継続していく。
 11. ①⑤と合わせて、日常の授業実践を大事にして、授業作りや授業改善についての研究を積み重ねていきたい。
- ※今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置が様々な場面で実施されているが、児童は落ち着いた学校生活を送っている、と感じられる。